



20年ってどれくらい長い？

ゆうの森は地域の皆様に支えられ、ありがたいことに2020年で創立20周年を迎えます。

ゆうの森創立当初、当記事担当者は7歳でした。遠い昔のことすぎて好きだった女の子の記憶もありません。

20年とは長い月日ですね。今回は20年がいかに長いのかを調べてみました。

01 オリンピックが5回開催できる

この20年で5回のオリンピックが開催され、数々の名シーンが生まれました。個人的に記憶に残っているのは、やっぱり2008年北京オリンピック 北島康介選手の「何も言えねえ」ですね。ネットでこのことを調べていたら、【北島康介氏、名言「何も言えねえ」実は「山ほど言いたいことがあった!」と、そそる見出しを見つけました。レース直後30秒くらいでカメラが来た為、頭の整理ができていなかったようです。



02 インターネットの普及率が倍に

2000年では日本人の約44%しかインターネットを使用していなかったのですが、2020年現在では約90%の人がインターネットを使用しています。(総務省通信統計データベース、総務省平成13年通信利用動向調査より) この20年間インターネットのおかげで人々の生活も変化を遂げてきました。20年間もあればインターネットの世界以外でも技術革新が進み様々な技術が出てくるでしょう。2040年には自動運転で訪問診療に行っているのでしょうか。移動時間を有効活用して、より良いサービスの提供に繋がれば素晴らしいことですね。

03 『吉田沙保里』越え

霊長類最強女子で知られる吉田沙保里選手ですが、その個人連勝記録は206勝とのこと。なんと15年も負けなしです。それだけ長い間多くの人に感動を与え続けたことを考えるとすさまじい存在です。ちなみに「長い」「スポーツ選手」で連想されるキングカズこと三浦知良選手は現在53歳で、今年で現役35年目を迎えたそうです。すごすぎます。



04 トナカイの寿命と同じ

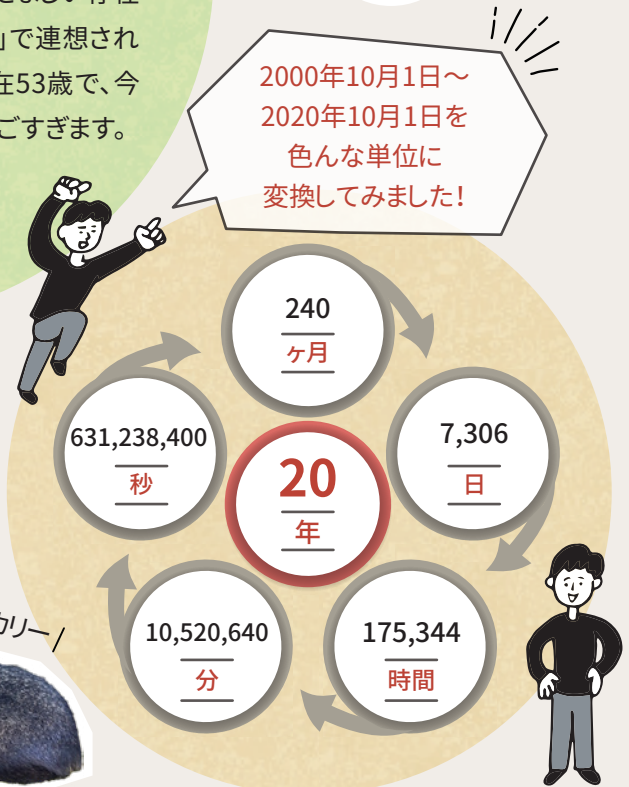
ゆうの森は今年20周年を迎えますが、これは飼育下のトナカイの寿命と同じ長さなのです。ちなみに野生のクビワペッカリーの寿命とも同じです。ついでに長寿の動物を調べたところ、ベニクラゲという不老不死のクラゲがいました。ストレスを受けると若返るという驚くべきしくみを持っているようです。ゆうの森もベニクラゲのような長寿を目指して頑張っ参ります。



「ベニクラゲ」
「クビワペッカリー」



2000年10月1日～
2020年10月1日を
色んな単位に
変換してみました!



【webサイト動物図鑑より】

<https://pz-garden.stardust31.com/index.html>